

氷室作太夫家住宅を再発見する プロジェクト かわら版

第2号
H29.9
発行／津島の
宝物ひろめ隊
津島市本町1
丁目26番地

●プロジェクトの内容

津島の宝物広め隊は、まちの地域資源は津島の宝物と考えその魅力を広める活動をする市民活動団体です。

「氷室作太夫家住宅を再発見するプロジェクト」は、津島市の「つしま歴史・文化のまちづくり提案補助事業」の採択を受けて実施しています。氷室作太夫家住宅は市の文化財指定を受けていますが、損傷部分があるためか、通常、一般には公開されていません。

そこで、氷室作太夫家住宅の価値や魅力を再発見（再認識・再評価）し、利活用案とそのために必要な整備案を取りまとめて、市民の皆様始め、一般の方々に発信する活動を進めていきます。

皆様のご参加をお待ちしています。

●活動報告（9/9）

平成29年9月9日（土）にプロジェクトの第2回目を開催し、事務局を含め17名の参加がありました。



今回は、名古屋大学の西澤先生を講師としてお招きし、専門家の目から見た氷室作太夫家住宅の現況について、現地で建物を見学しながら解説を受けました。見学後は西澤先生を中心に、参加者の皆様が氷室作太夫家住宅を見て感じたことや、利活用方法のアイディアについて意見交換を行いました。

●意見交換会～意見の一部を紹介します～

- ・建設時の状態も大切だが、その後の現在までの建物の歴史も大切である。
- ・高齢者と子供の施設とする方向性は有りで、また、地域の人たちの施設とすることも重要である。
- ・建築施工の目で見ると、あちこち直さなければいけない部分が目につき、どこまで直すか気になる。
- ・前回の意見交換会では、この建物は数年で壊れてしまうという意見があったが、今回、よく見てみるとしっかりしていて、まだ使える建物だと感じた。
- ・天王祭などのイベント時はビジャーセンターとして来訪者の休憩所や飲食を提供する場とし、その他の時期は地域に開放して活用する。
- ・津島神社の歴史を紹介するうえで、欠かせない建物だと思う。御師に関するものを集めて御師の歴史を紹介する建物としてはどうか。
- ・指定文化財である以上、文化財としての保存を第一に考えなければいけないが、文化財だから使ってはいけないということではない。
- ・活用の検討に際しては実現性のない提案も重要である。

●まとめ

今回は、氷室作太夫家住宅の利活用方法について活発に意見が出されました。建物の現状を是認して、そこから利活用方法を検討することが重要であるという西澤先生の解説からスタートし、地域のための施設であることを前提に、足りない機能を追加する、高齢者や子供、あるいは来訪者のための施設として、子供図書館や御師の歴史博物館、休憩・飲食施設など、様々な利活用方法が提案されました。また、一方で、構造的に安全性の面で問題があることや、文化財としての位置付けによる建物改修時の制約など、難しい問題があることも指摘されました。

●次回のお知らせ

次回は10月14日（土）午後1時30分より、「津島信仰と津島御師の活動について」をテーマに津島まちや・まちなみ再生機構事務所（津島市本町1丁目26番地）の2階で開催いたします。講師に堀田正裕氏（津島神社権宮司）をお招きする予定です。普段では聞けない津島信仰と津島御師の活動についてのお話や貴重な津島市の歴史を学ぶ機会になると思います。参加希望者は090-4257-0011もしくはメール（info@tsushima-machiya.net）迄

シリーズ 氷室家の家屋敷について：「第2回 母屋」

式台

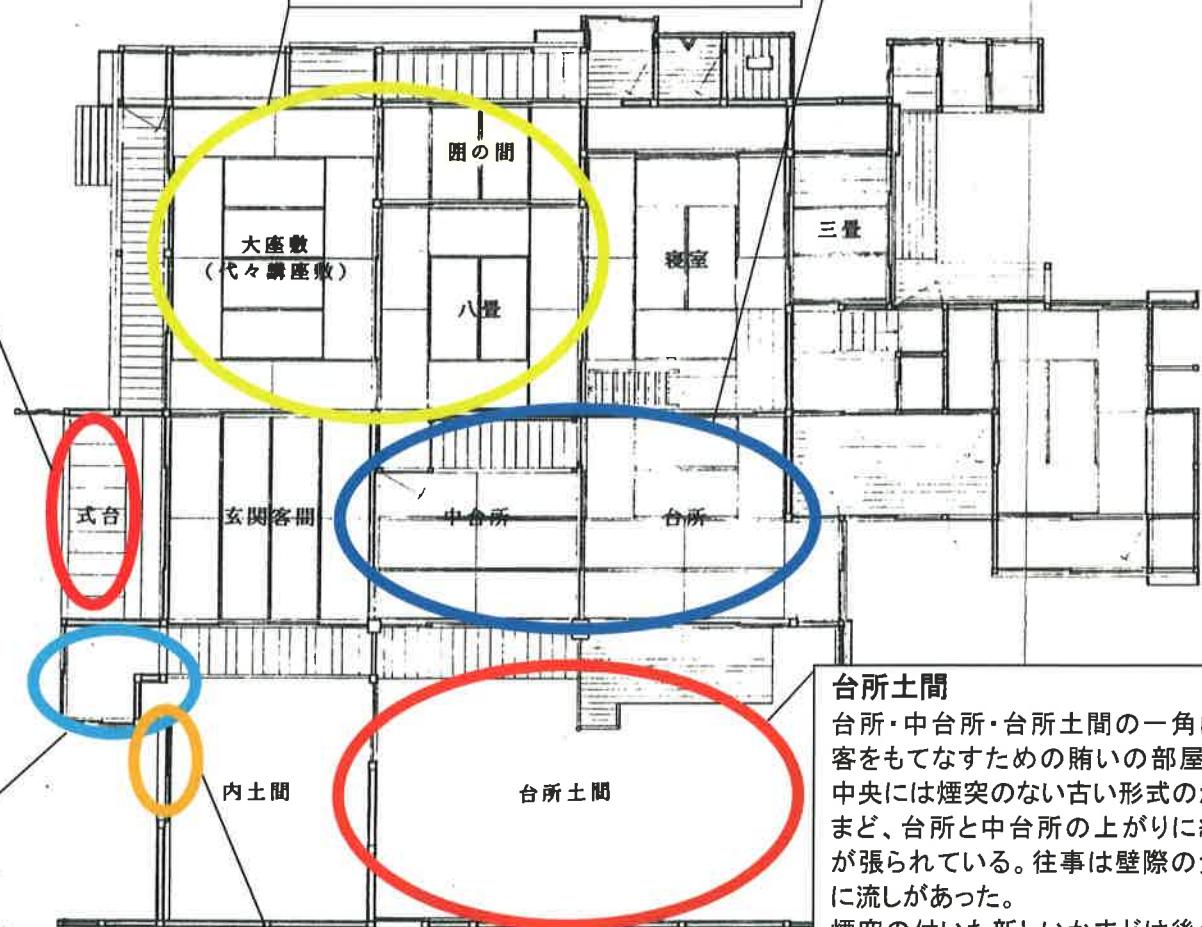
大戸口の左側にある縁張りの上り口(玄関)。身分の高い客を迎える時に使用する。

座敷

庭に面した大座敷とその奥の間は客をもてなす部屋。大勢の泊り客の宿泊の部屋となる。
※「代々講」とは「太々講」のことである。

台所・中台所

土間に面して、台所・中台所の2部屋がある。大勢の客を迎えた時には配膳室として使用する。



風呂場

母屋創建当初は、この場所に無い。宿坊としても、日常作業の上でも便利な玄関脇に増築された。

大戸口

家族や通常の客の出入り口(玄関)。木製の大型引き戸。大戸の左端に小さいくぐり戸が付く。

冠木(かぶき)

神職の家なので意匠として鳥居のように端が反り上がった板を使用。左端は風呂場に隠れて見えない。

1階

台所土間

台所・中台所・台所土間の一角は客をもてなすための賄いの部屋。中央には煙突のない古い形式のかまど、台所と中台所の上がりに縁が張られている。往事は壁際の角に流しがあった。

煙突の付いた新しいかまどは後年設置されたもの。内土間との間に中仕切り戸がある。

祭祀室

棚を設けて神棚を備えている。母屋と長屋の間に離れがあった頃は、離れに神棚を備えた部屋があった。御師制度の廃止により、家で祭祀を行わなくなり、2階に設けられたと思われる。



2階

氷室作太夫家住居を再発見するプロジェクトでは、Facebook ページで情報等の配信を行っています。

[氷室作太夫家住居を再発見するプロジェクト](#)

で、検索してアクセスして下さい。